

—施設の現状を知り、あり方を考える—



伊勢市公共施設 マネジメント白書

[ダイジェスト版]

利用者1人あたりの
年間コストは?



どのように
利用されているの?



市内にはどんな
施設があるの?



伊勢市が保有する施設について、様々な観点から評価分析することで施設の全体像を「見える化」します。

平成24年8月 伊勢市

「伊勢市公共施設マネジメント白書」の発行にあたって

公共施設は、市民の皆さんが必要な手続を行う場として、また交流の場、学習の場、生活の場など、それぞれの設置目的に沿って利用する拠点であり、市民全体の貴重な財産です。本市では、昭和 63 年までの人口増加を背景に拡大する行政需要のもと、社会的要請や市民ニーズに対応するために、昭和 40 年代から多くの公共施設を整備してきました。その後も少子高齢社会の進展や多様なニーズに対応するための施設整備も進めてきました。その数は 1,000 棟以上に及びます。今後は東日本大震災を教訓として防災機能としての公共施設の整備も考えていかなければなりません。

しかし、多くの施設が建築してから 30 年以上を経過して施設の老朽化が進み、今後、大規模な改修や改築などが集中する時期を迎えることとなります。これらの施設をそのまま更新しようとする莫大な財政負担となり、老朽化が進む施設をどのように維持保全、更新していくかという取り組みは、これからの市政運営にとって極めて大きな課題となっています。

一方、伊勢市は、全国・三重県平均を上回って人口減少、少子・高齢化が進んでいる状況であり、一昨年まとめた当市の将来人口推計「将来の伊勢市のすがた」において 20 年後の総人口は、およそ 14%減少して 11 万 5 千人あまりと予測しています。特に働く世代の減少が顕著となり、将来にわたって歳入の減少が想定される一方で、少子・高齢化への対応をはじめとする社会保障費などの歳出は増加の一途をたどり、財政状況は大変厳しいものとなることが予想されます。

これらのことから、公共施設の保全や整備に予算を潤沢に振り向けることは困難な状況となることは明らかであり、今後真に必要な施設サービスの提供を持続可能なものとしていくための取り組みは避けて通れないこととなります。

本書は、本市が保有する公共施設の設置状況はじめ、利用・運営状況や施設・事業運営のコストに関する情報も含め、様々な観点から評価分析し、本市の公共施設の課題を「見える化」しています。

今後は、この「公共施設白書」の発行を契機として、市民の皆さんや市議会と行政との情報共有を図りながら公共施設のあり方について一緒に考えていきたいと思えます。そして、全体最適の観点から公共施設の統廃合を行うなど「選択と集中」を進め、子どもたちの将来にツケを残さないようにしなければならないと考えておりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

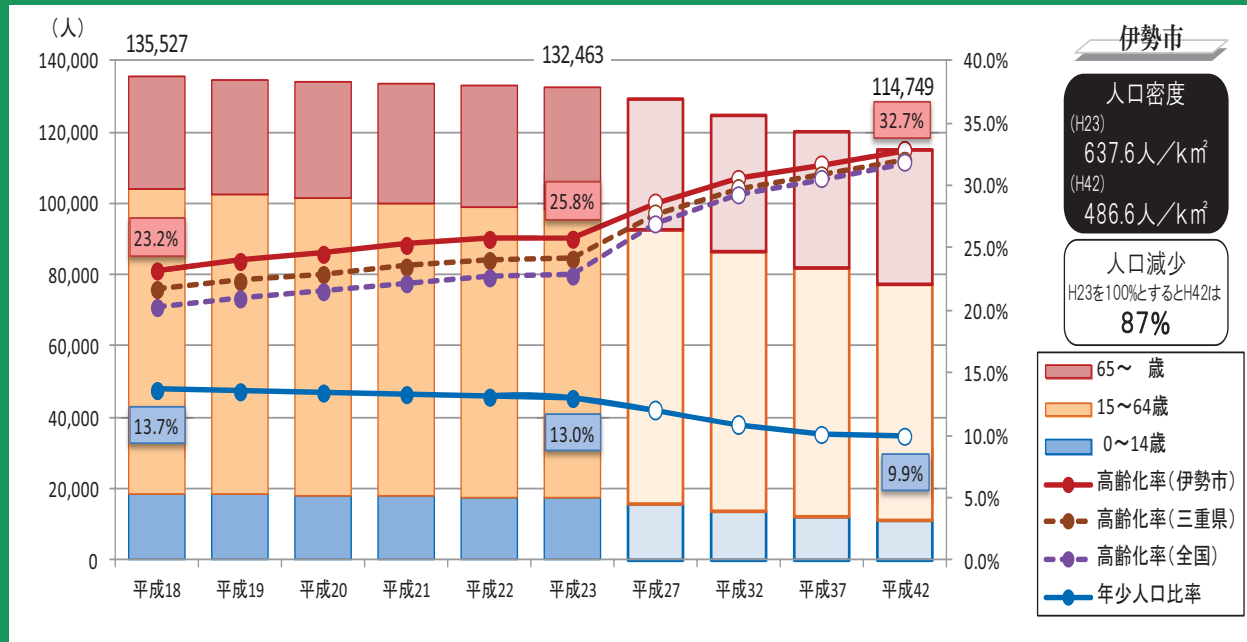
平成 24 年 8 月

伊勢市長 鈴木 健一

これからの人のこと

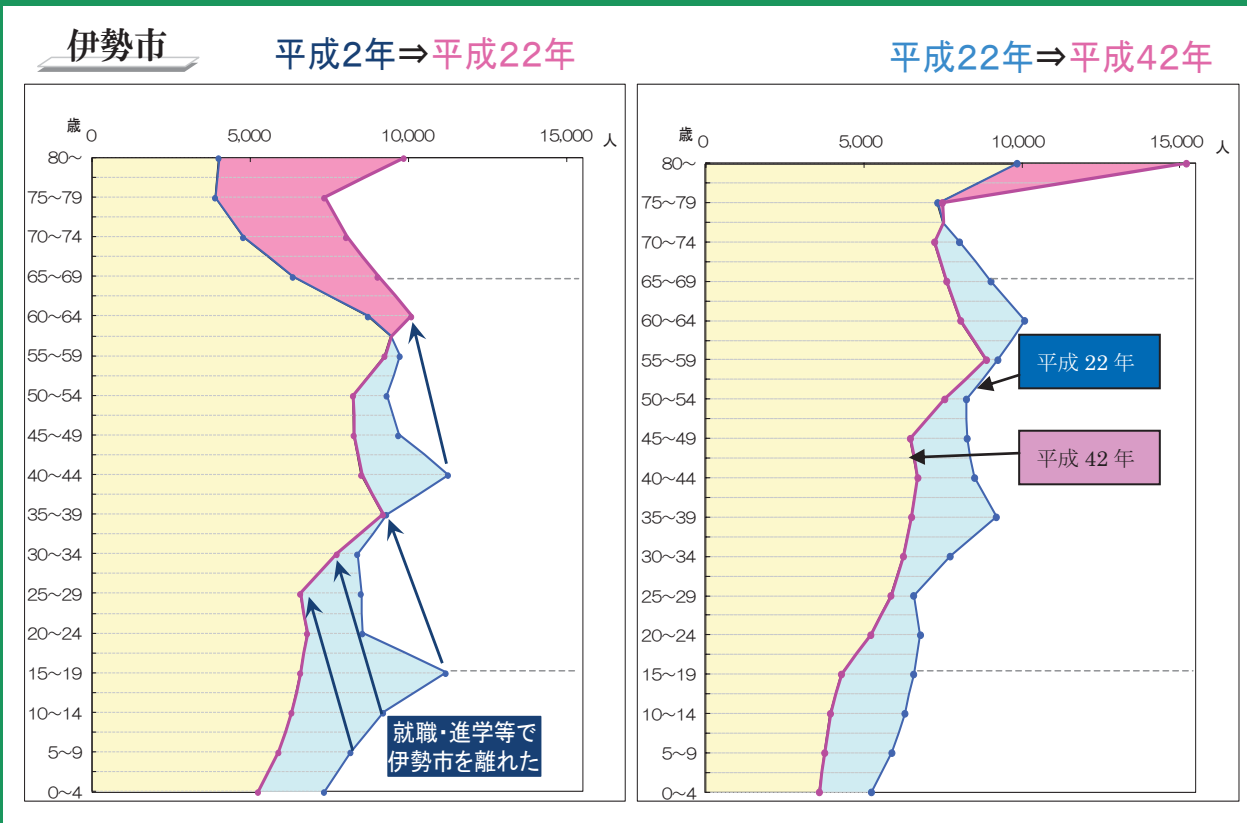
人口変化

高齢者の割合は3人に1人に。
生産年齢人口、年少人口の減少が進みます。



将来変化

全体的な人口減少の中で、子ども・現役世代だけでなく高齢者も減少します。

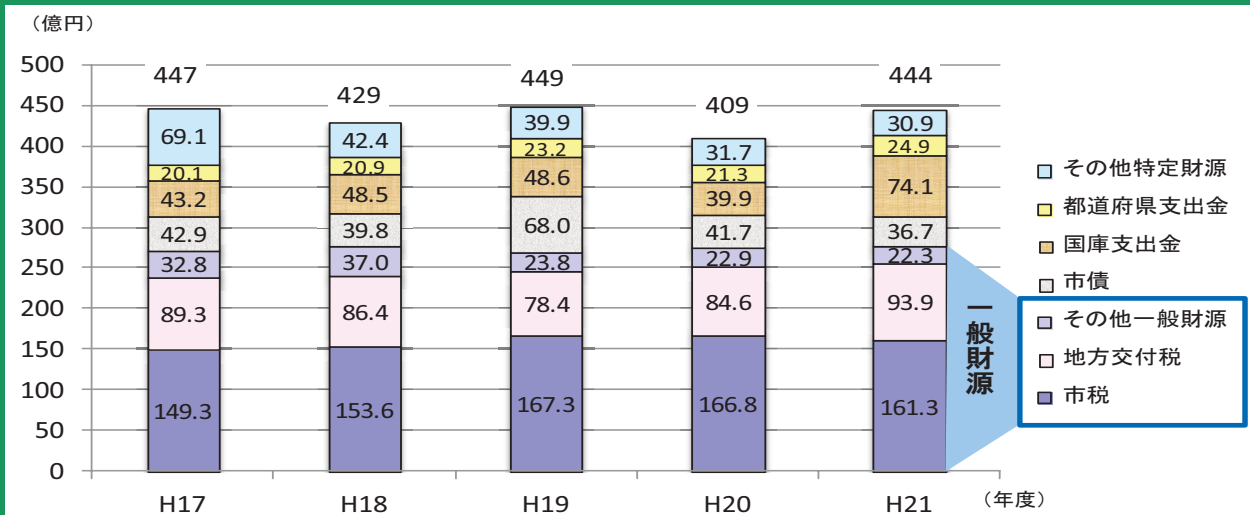


お金のこと

財政状況

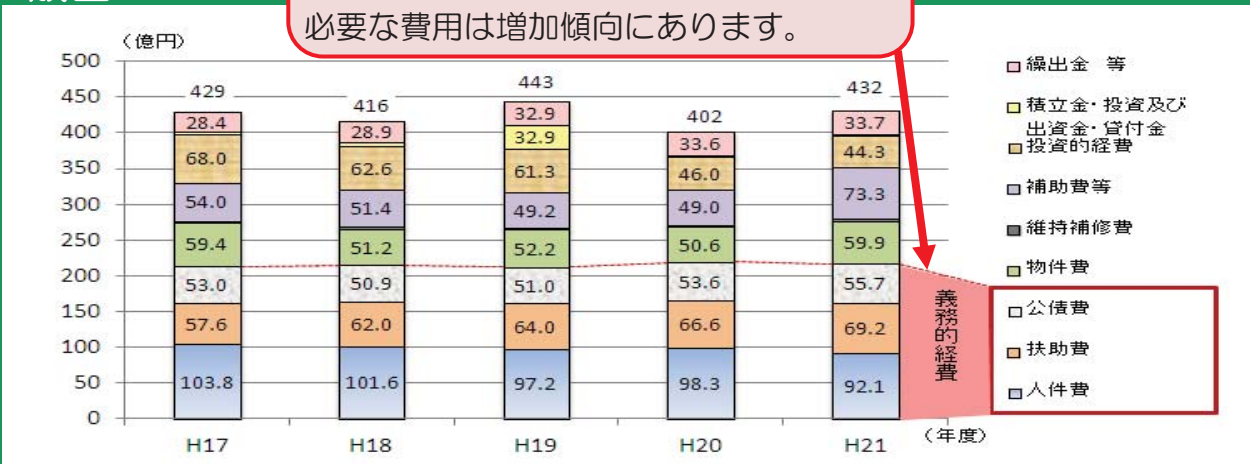
財政の硬直化が進んでおり、市の裁量で使えるお金が減少しています。

歳入



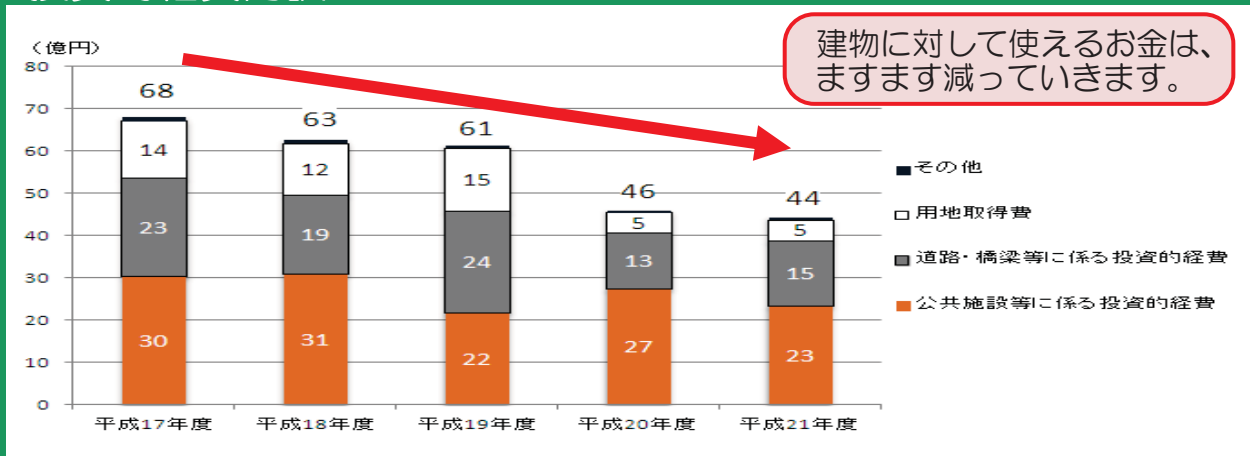
歳出

社会保障費などの増加により、義務的に必要な費用は増加傾向にあります。



投資的経費内訳

建物に対して使えるお金は、ますます減っていきます。



これからは人口の減少に伴い働く人も減少します。義務的経費の増加が見込まれる中、建物のために使えるお金がますます減っていきます。

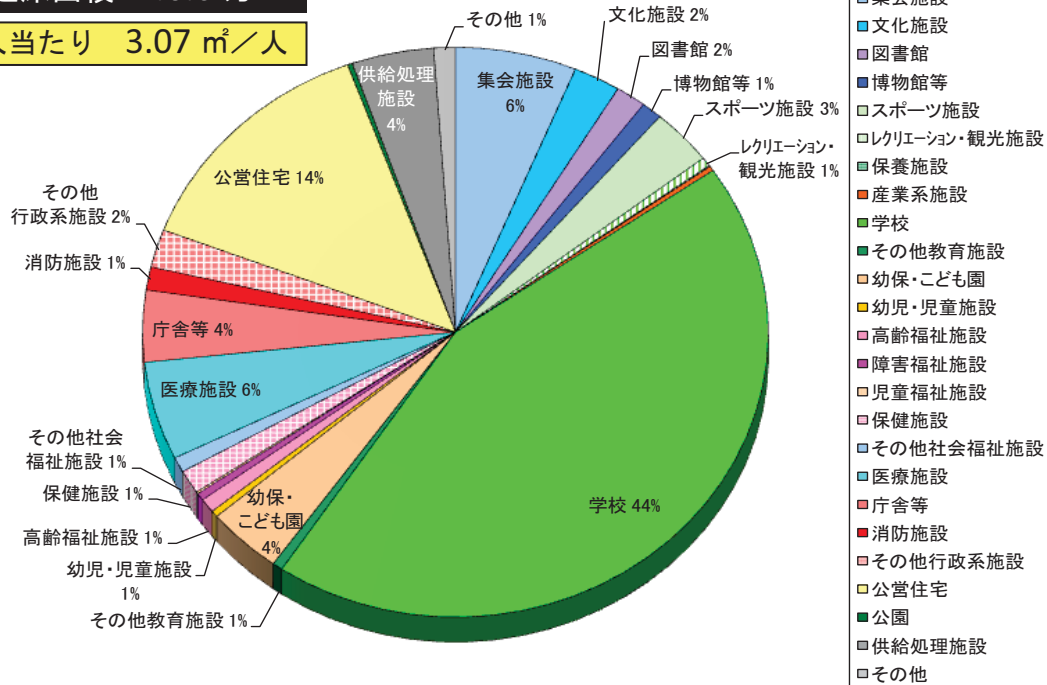
市が持っている建物の状況

建物延床面積の内訳

全国の自治体においても学校と公営住宅で過半を占めています。

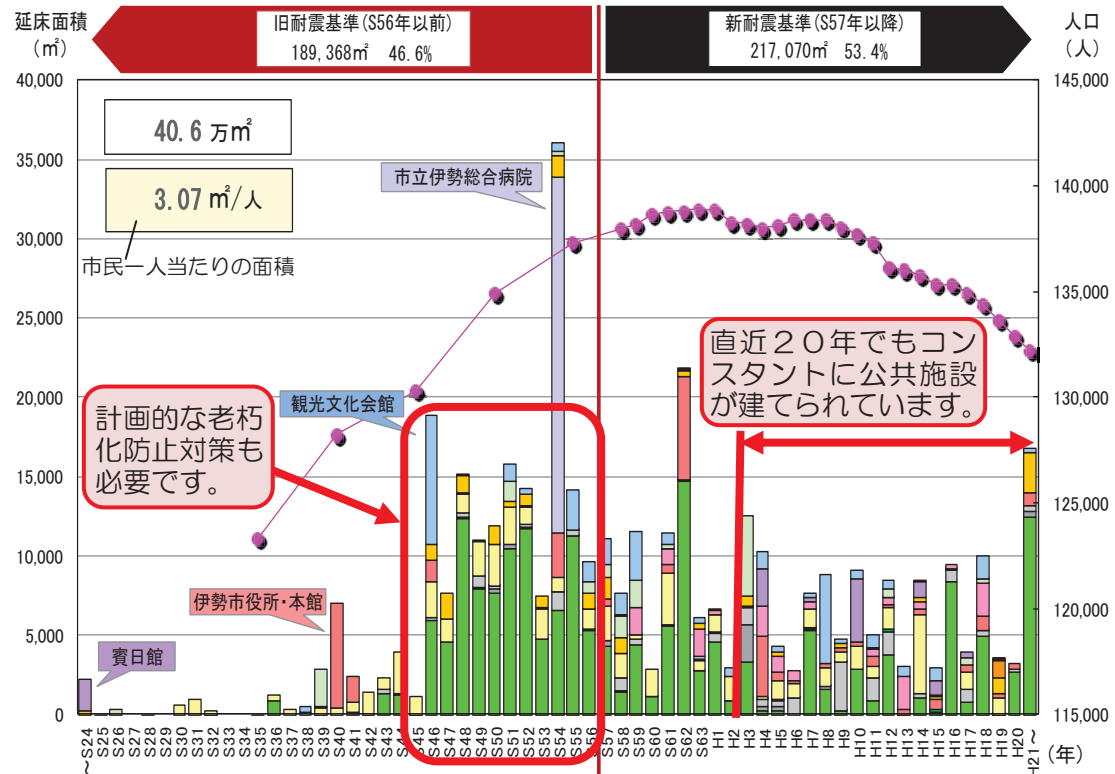
建物総延床面積 40.6 万㎡

市民一人当たり 3.07 ㎡/人



築年別整備状況

学校（緑色）をはじめ、昭和 40 年代から多くの公共施設が建てられています。

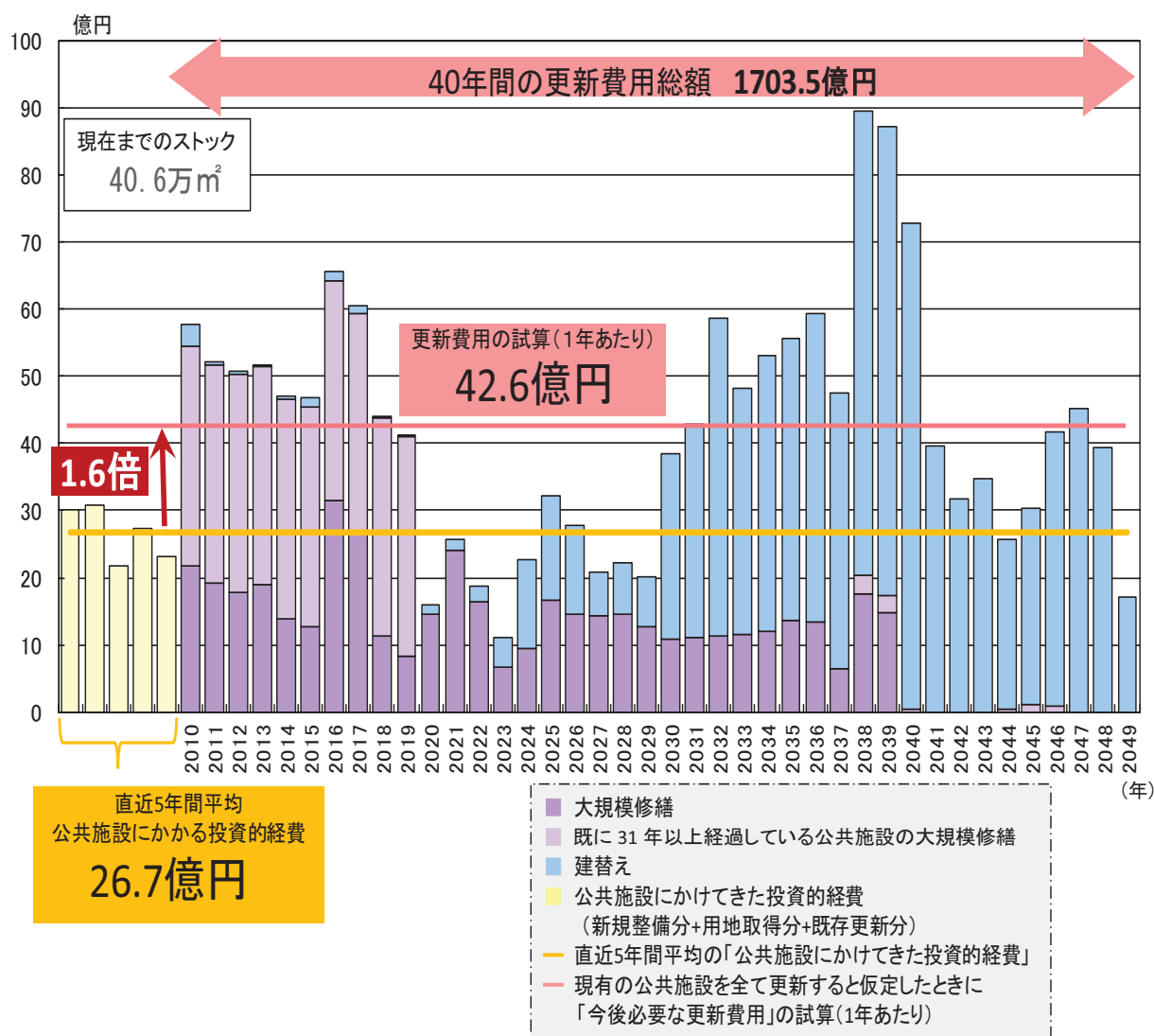


将来いくらかかるのか計算しました

施設の更新にかかる将来コストの試算

建物の耐用年数を60年として、全ての公共施設を更新すると仮定し、整備年度ごとの延べ床面積に更新単価を乗じることで試算しています。

築後30年以上経過している施設が全体の約46%に上る中、その更新費用は莫大です。



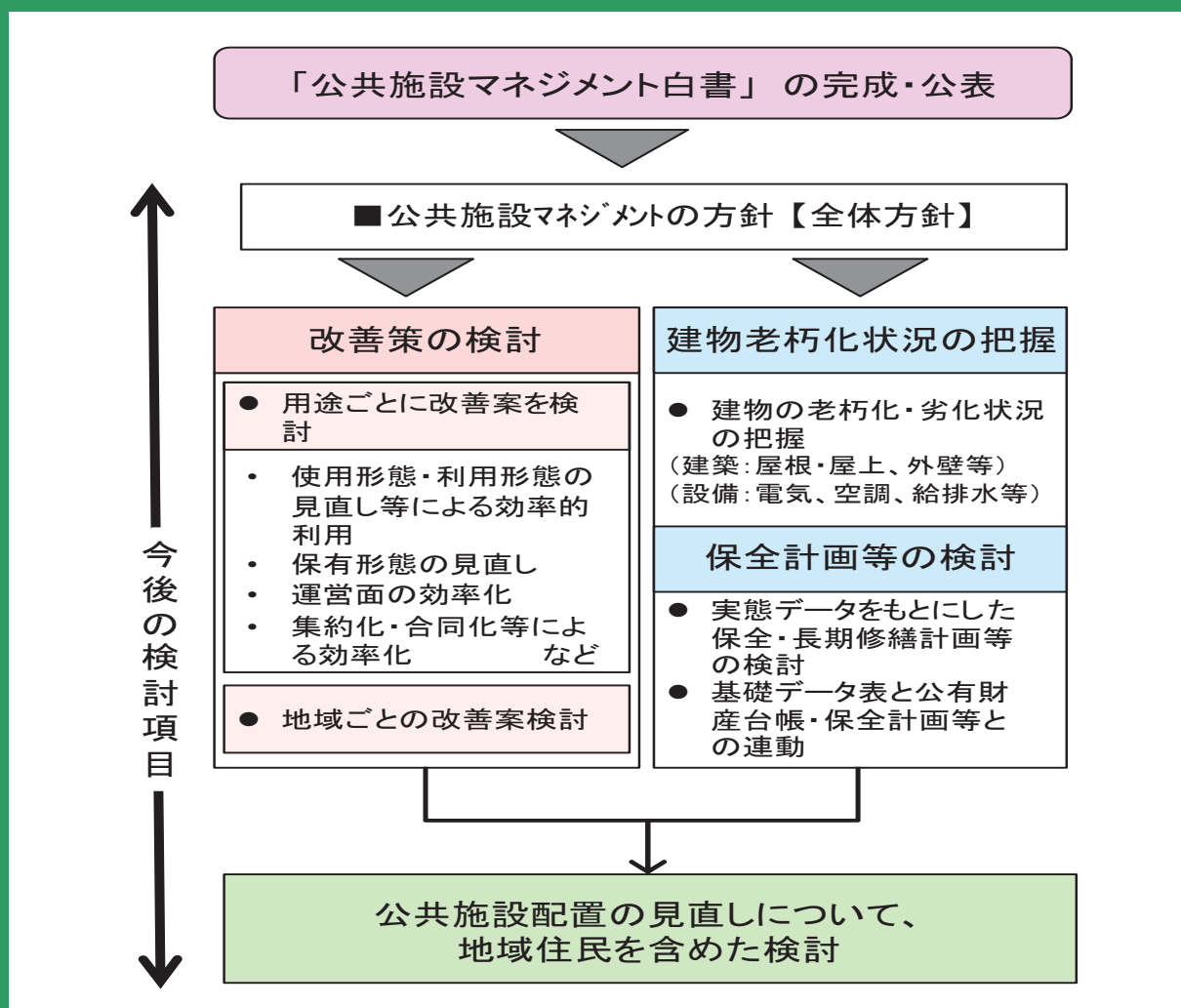
将来コストの試算では、現在の1.6倍にあたる
年平均42.6億円が必要になります！

公共施設のこれから

こんな課題が見えてきます

- 今後も伊勢市の人口は減少していく。人口構成については、高齢者の増加、若い世代の減少が進む。
- 現在、施設にかかる投資的経費は 26.7 億円であるが、このまま全ての施設を更新していくと 1.6 倍の 42.6 億円が必要となってくる。全ての施設を維持更新していくことは極めて難しい。
- 歳入の減少、社会保障費の増加などによる財政の硬直化が進む。合併した市町村への優遇措置である普通交付税の上乗せが段階的に減少し、平成 33 年度にはゼロになる。

今後の公共施設マネジメントの進め方

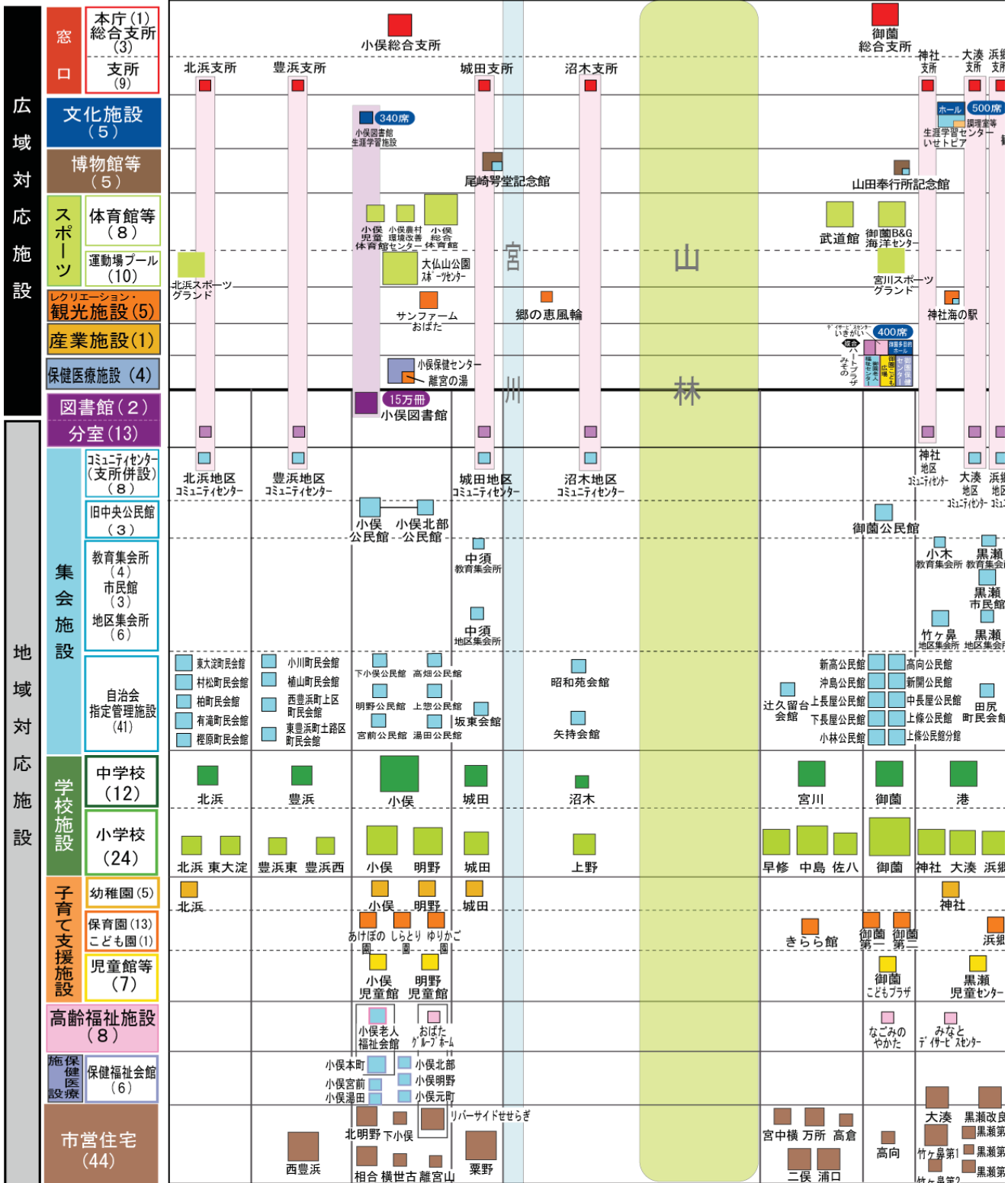


公共施設の配置状況をまとめました

地域実態マップ

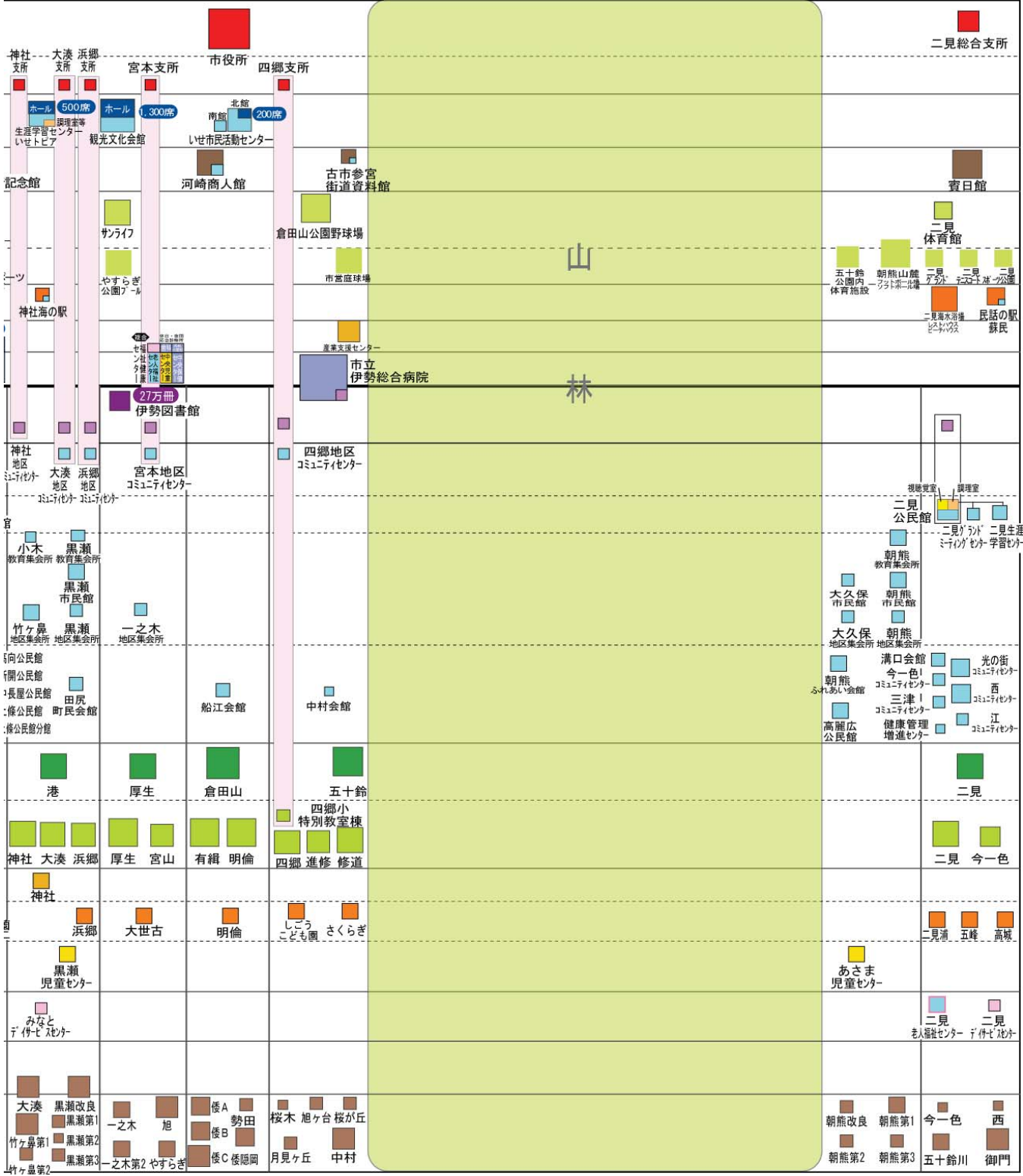
総人口 (H22.3.31現在)
: 13万2,934人
総面積
: 208.53km²
おおよその地域面積

郊外グループ		近郊グループ		集落グループ		市街		近郊グループ	
北浜	豊浜	小俣	城田	沼木		宮川	御園	港	
6,165人	5,595人	19,384人	6,303人	総人口: 2,118人		13,534人	8,978人	15,334人	
高齢 26% 生産 61% 年少 13%	高齢 26% 生産 62% 年少 13%	高齢 21% 生産 63% 年少 16%	23% 62% 15%	高齢者人口: 25% 生産人口: 64% 年少人口: 10%		高齢 32% 生産 58% 年少 10%	21% 63% 16%	高齢 21% 生産 65% 年少 14%	
10.27 km ²	11.05 km ²	11.56 km ²	6.1 km ²	32.78 km ²		9.61 km ²	6.05 km ²	9.78 km ²	



グループ・地域ごと、用途ごとに一覧にしています

市街グループ			五十鈴		郊外
港 15,334人	厚生 12,175人	倉田山 16,079人	五十鈴 総人口:17,941人		二見 9,328人
高齢 21%	高齢 27%	高齢 31%	高齢者人口: 29%		24% 高齢
生産 65%	生産 60%	生産 58%	生産人口: 59%		61% 生産
年少 14%	年少 13%	年少 12%	年少人口: 12%		14% 年少
9.78 km ²	12.1 km ²	4.99 km ²	82.3 (神宮を除くと27.3) km ²		11.94 km ²



施設にかかる全てのコストをまとめました

施設用途別トータルコストと

「市民一人当たりコスト」を算出しています

施設用途別トータルコストと、これを人口（132,934人）で除した金額を「市民一人当たりコスト」として算出しています。

市民の皆さん一人一人の捉え方も様々であると思います。また、公共施設のあり方については、金額（コスト）のみで考えるのではなく、さまざまな角度から考える必要があります。

用途	単位（円）	
	トータルコスト	市民一人当たりコスト
集会施設（旧中央公民館）	63,703,977	479
集会施設（教育集会所・市民館）	65,370,339	492
集会施設（地区集会所）	4,157,357	31
集会施設（自治会指定管理施設）	69,437,938	522
支所併設コミュニティセンター	15,281,070	115
文化施設	252,237,616	1,897
図書館	205,657,560	1,547
博物館等	50,442,266	379
スポーツ施設	222,119,569	1,671
レクリエーション・観光施設	75,535,342	568
産業系施設	70,851,821	533
学校教育施設（小学校）	684,269,999	5,147
学校教育施設（中学校）	428,114,052	3,221
中学校給食共同調理場	177,257,443	1,333
幼保こども園（幼稚園）	192,862,576	1,451
幼保こども園（保育園及び子育て支援センター）	1,629,909,505	12,261
幼児・児童施設	119,254,217	897
高齢者福祉施設	75,233,475	566
障がい者福祉施設	160,609,066	1,208
保健施設（医療施設除く）	118,493,197	891
庁舎等（窓口）	226,235,827	1,702
市営住宅	264,278,255	1,988
合計	5,171,312,468	38,901

※利用料収入などは加味していません。

公共施設マネジメント白書では…

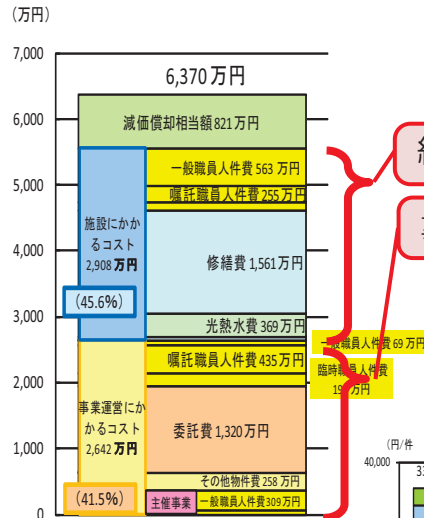
ひとつひとつの施設について
様々な視点で実態把握しています

コスト情報

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】

施設にかか るコスト	一般職員人件費	771,600	1,152,000
	嘱託職員人件費	194,400	1,152,000
	臨時職員人件費	0	1,152,000
	修繕費	11,522,950	5,120,000
	光熱水費	1,745,463	1,400,000
	使用料及び賃借料	0	350,000
	その他物件費	35,000	0
	施設にかかるコスト	14,269,413	3,430,000
事業運 営にか かる コスト	一般職員人件費	0	309,000
	嘱託職員人件費	1,232,000	0
	臨時職員人件費	0	1,460,000
	委託費	2,481,169	2,480,000
	車両・備品購入費	0	0
	その他物件費	383,576	120,000
主 催	事業運営	4,096,745	4,370,000
	一般職員人件費	385,800	2,310,000
	嘱託職員人件費	583,200	0
事業運 営にか かる コスト	主催事業	969,000	2,310,000
	事業運営にかかるコスト	5,065,745	6,680,000
現金収支を伴うコスト 計		19,335,158	10,120,000
収入の部】			
収入	使用料収入	179,170	180,000
収入の合計		179,170	180,000
II. 現金収支を伴わないもの			
コスト	減価償却相当額	2,740,000	
III. 総括			
コストの部合計(トータルコスト)		22,075,158	10,120,000
収支差額(ネットコスト)		21,895,988	9,940,000

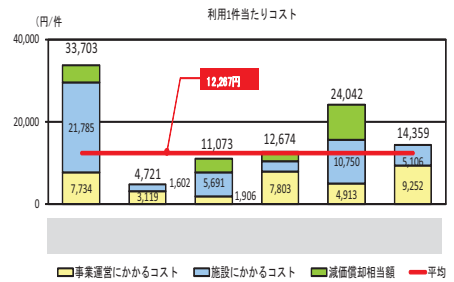
施設にかかる全てのコスト



維持管理にかかるコスト

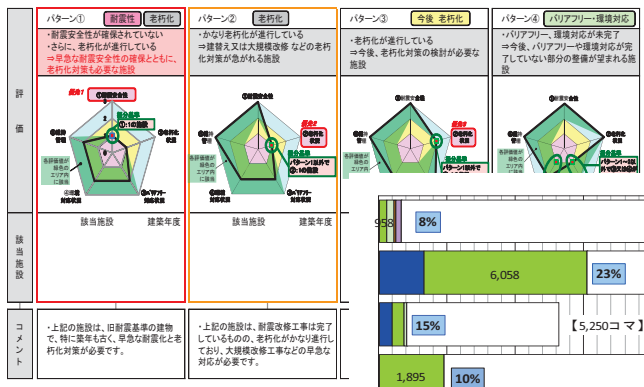
事業運営にかかるコスト

利用1件当たりのコスト



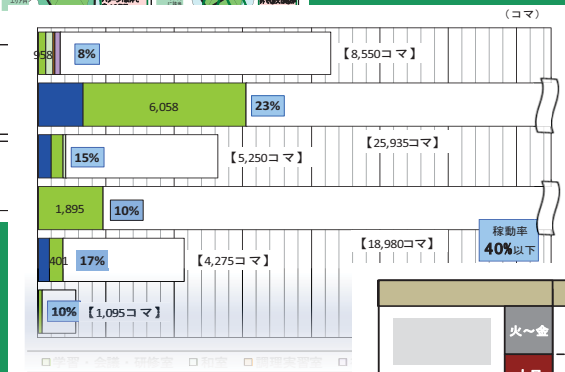
建物状況

レーダーチャートによる各施設の
老朽化状況を評価しました。



利用状況

一年間でどれぐらい利用されて
いるか数値化しました。



運営状況

施設の運営に必要な職種、
人数をまとめました。

火～金	8:30	嘱託職員 2人	17:15	その他 1人	21:00
	土日	その他 1人			
月水金	所管課職員が管理				
		臨時職員 1人		その他 1人	20:30
火木		その他 1人 5:00			
		臨時職員 1人		その他 1人	20:30
土日		その他 1人			

その他の項目…

設置目的、利用料金、スペース構成など

平成 24 年 8 月

発行

伊勢市情報戦略局 情報調査室

伊勢市岩渕 1 丁目 7 番 29 号

TEL 0596-21-5548

URL <http://www.city.ise.mie.jp>

〔伊勢市公共施設マネジメント白書の本編・ダイジェスト版については、伊勢市ホームページに掲載しています。〕